

精神科向け報告書作成ソフトの特徴

①報告書業務の統一化がはかれます。

自立支援関連を含め報告書の作成できるソフトは数多くあります。また、ワードやエクセルで作成する事も可能です。

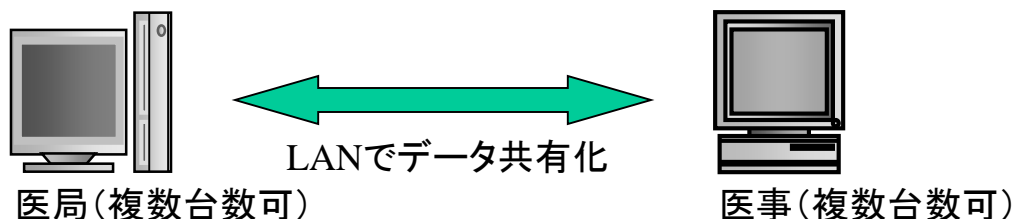
しかし、各ソフトによる操作の違いや医事スタッフとのデータの共有化や、患者様毎に報告書の提出期限が違います、それを**各ソフトでバラバラに個別処理する方法ではおのずと限界があります。**

↓**報告書作成業務の統一化で解決します！！**

全ての報告書、全ての患者様データが統一したソフトの下で動作する事で報告書の**期日管理も可能となり**、先生間のデータ共有化は勿論ですが医事業務との連携もスムーズとなります。このように業務全般の統一化によるメリットは大きいものがあります。

②院内LAN上で動作します。

各部署で情報の共有化が可能です…



院内LAN上で動作できます、また基本的には接続する端末は何台でも設定可能です。

医局で先生が入力された報告書を、医事スタッフの方が印刷したり、提出の準備をしたりと、**統一化されたソフトが院内LAN上で動作して煩わしい業務を最大限効率化します。**

③ソフトの標準化で低価格化を実現しました。

ソフトをパッケージ化(仕様統一化)する事で**他社製品の半額程度**でご提供が可能となりました。(従来品は100万円以上の製品が多数です。)

④書式が変わっても素早くサポートします。

充実した保守制度で書式変更にも素早く対応いたします。

安心してお使い頂ける環境をご提案いたします。

お問合せ先:カイゼンソフト

部門:愛媛県宇和島市高串1番耕地570-2
ソフト担当直通 090-7625-2658